

令和7年度

保育所(園)公開保育報告書

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

目 次

令和7年度公開保育開催要綱・・・・・・・・・・・・・・・・	1
-------------------------------	---

実施報告（開催日順）

◇【伊賀地域】伊賀市 神戸保育所・・・・・・・・・・	3
----------------------------	---

◇【松阪多気地域】松阪市 久保保育園・・・・・・・・	9
----------------------------	---

◇【桑員地域】桑名市 多度保育所・・・・・・・・・・	16
----------------------------	----

◇【三泗地域】四日市市 内部保育園・・・・・・・・	23
---------------------------	----

◇【津地域】津市 清泉愛育園・・・・・・・・・・	31
--------------------------	----

年度別公開保育所（園）一覧・・・・・・・・・・	42
-------------------------	----

令和7年度 公開保育開催要綱

1 趣 旨

三重県・三重県社会福祉協議会が、市町の協力を得て「公開保育」は始まりました。

公開保育は、保育士同士が専門的知識・技術を習得し相互理解を深める場であり、またそれぞれ個性を持った保育所(園)・認定こども園同士がネットワークを構築し、互いのノウハウが利用できるシステムづくりをめざし、もって魅力ある保育所(園)・認定こども園づくりを目的として実施するものです。

2 主 催

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

3 開催方法

(1)開催場所

対象は保育所(園)、認定こども園(以下「保育所等」という。)とし、本年度は5か所を指定し実施する。

(2)実施内容

保育所等の様子を見学することを主とし併せて全体会を開催する。

ただし、公開保育実施にあたって乳幼児に負担のかからないよう配慮する。

(3)参加

① 三重県内の保育所に所属する保育士等が参加できる。

② 参加人数については、開催所(園)の都合(園児数等)により設定する。

③ 申込が多数あり、開催保育所等において受入の上限を超過した場合は、開催市町以外の申込者を優先して参加を受け入れる。

(4)参加申込方法

開催案内とともに送付する参加申込書へ必要事項を記入し、FAX 又は郵送にて県社協へ申し込む。

4 開催日程

詳細が決まり次第、開催案内を保育所等へ送付し、参加申込を県社協にて受付ける。

5 日程のモデル

(半日実施の場合)

9:15 受付

9:30 公開保育開始(見学)

11:00 意見交換・質疑応答

－挨拶(主催者・所(園)長)

－開催所(園)スタッフの紹介

－当日の保育内容の説明

－意見交換・質疑応答

12:00 閉会

6 資 料 等

(1)公開保育所等において、下記事項の内容をふまえた開催資料を作成する。

- ① 日程
- ② 開催所(園)の概要と保育目標
- ③ 保育指導計画(各クラス別)日案
- ④ 給食献立表、月間献立表等

(2)公開保育所等は、作成資料を実施日2週間前までに県社協まで5部送付するものとし、当日は参加者分用意する。

7 報 告

開催保育所等は、当日の様子を記録したうえ報告書を作成し、公開保育終了後1か月をめぐりに、県社協へメールにて提出するものとする。ただし、報告書に関しては次の各号に留意するものとする。

・Word で作成し、全体文字数を 5,000 字以内でまとめること。

8 そ の 他

(1)当日の受付

当日に県社協職員が参加者名簿と領収書(参加費 2,000 円)を持参し、参加者名簿により県社協職員で受付業務を行うものとする。

(2)駐車場係等について

駐車場係や案内係等は必要があれば、開催保育所等が手配するものとする。

実 施 報 告

【伊賀地域】伊賀市

神戸保育所

開催日 令和 7 年11月11日(火)

公開保育要項

公開保育資料

『夢中になって あそびこめる子ども』
～秋みつけをしよう～

令和7年11月11日（火）

9:15 受付・説明

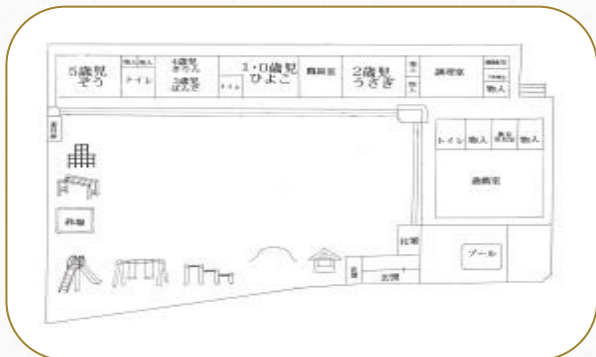
9:30 公開保育

11:00 全体会



保育所の概要

1. 名称 神戸保育所
2. 所在地 三重県伊賀市上神戸764番地の3
3. 定員 40名
4. 規模・構造 鉄骨造り平屋建
5. 建築年度 昭和62年



クラス及び職員構成

令和7年11月1日現在

年齢	クラス名	園児数	職員数
5歳児	ぞう	9	2
4歳児	きりん	5	
3歳児	ぱんだ	11	2
2歳児	うさぎ	9	2
1歳児	ひよこ	5	
0歳児	ひよこ	4	4
所長			1
主任			1
用務員			1
調理員			2
合計		43	15

伊賀市神戸保育所公開保育 全体会

1. 三重県社会福祉協議会 挨拶

2. 伊賀市保育幼稚園課 伊賀市の保育について

伊賀市には、公立保育所 13 園、公立幼稚園 1 園、私立保育園 13 園、認定こども園 2 園、私立幼稚園 1 園があります。2019 年度より、伊賀市全体で子どもの発達を見つめ直す中で、「体が十分に育っていないのではないか」という気づきから、発達や環境設定を学び合い、「伊賀市保育計画検討会」を設置しました。その成果として、2023 年度に「伊賀市保育計画」を作成し、“「あ〜楽しかった！」を保育の根っこに”という理念を掲げ、保育士が子どもの姿を見つめながら保育を進めています。さらに、2024 年 11 月には「伊賀市人権保育基本方針」を策定し、人権尊重を基盤に、子どもも大人もお互いを大切にし合う保育を推進しています。神戸保育所でもこの方針をもとに、からだ育てを中心に、自然の中で伸び伸びと体を動かし、地域とのかかわりを大切にした保育を実践しています。

3. 神戸保育所 所長 神戸保育所の保育の柱について

神戸保育所では、伊賀市保育計画および人権保育基本方針をもとに、「夢中になって遊べる子ども」を保育の柱としている。

- ・ 体を動かすことを楽しむ子ども
- ・ 自分のことが好きで、自分を大切にできる子ども
- ・ 友達を思いやり、つながり合える子ども
- ・ 自分の思いを表現できる子ども
- ・ いろいろなことに意欲的に取り組む子ども

を目指し、「夢中になってあそびこめる子ども」をテーマに保育を進めています。

からだ育てでは、裸足で園庭を駆け回ったり、散歩で体を思いきり使ったりして、健康でしなやかな体づくりを行っています。

心育てでは、自然や絵本との出会いを通して感性を育むことを大切に、保護者とも連携して“ほっとできる保育環境”をつくっています。

また地域とのつながりを大切に、寺や畑などへ出かけて地域の方々と交流しています。週 1 回の異年齢交流「わくどきデー」では、3・4・5 歳児と一緒に散歩を楽しみ、地域の人との出会いを通して心豊かに育っています。

保護者との共有として、各クラスでドキュメンテーションを掲示し、子どもの姿を日々伝える取り組みや、伊賀市の「キッズビュー」システムを活用して保育の様子を配信しています。

4. 本日の保育について説明

本日の保育は、「夢中になってあそびこめる子ども〜秋みつけをしよう〜」をテーマに行いました。各年齢の発達段階に応じた目標をもち、子どもたちが自分の思いを表現できるような関わりを大切にしています。

- ・ 0・1 歳児：「おもいきり身体を動かして、いっぱいあそぼう」
- ・ 2 歳児：「自分のしたいあそびを十分に楽しもう」
- ・ 3・4 歳児：「友だちと一緒にあそぶって楽しいな。あしたも一緒にあそぼう」
- ・ 5 歳児：「自分が好き！友だちが好き！〜友だちと一緒にやってみよう〜」

神戸の自然豊かな地域環境を生かし、散歩を通して季節の変化にふれ、子どもたちの「見つけたい」「やってみたい」という気持ちを引き出しています。

散歩で拾ったどんぐりや落ち葉を使ってあそぶ中で、友だちとのやりとりや発想が広がり、自然の中での学びが深まっています。また、子どもたちと保育士で「散歩マップ」を作り、行き先や見どころを共有しながら活動を展開しています。ホールには、3・4歳児が散歩で見つけたイチョウの葉を表現した「木」のコーナーがあり、子どもたちの感じた秋が詰まった温かな空間になりました。

雨の日も、異年齢の友だちと部屋を行き来しながら自由にあそぶなど、「やってみたい」という気持ちを大事にしています。

○乳児保育の実践

0～2歳児の保育では、砂・水・泥などの素材を使ったあそびを通して、五感を働かせ、体を思いきり動かす経験を大切にしています。一人でじっくりとあそびこむ姿や、大きい子のまねをして挑戦する姿、道具を工夫して使う姿などが見られ、保育士は子どもの意欲や達成感を大切に見守っています。あそびの中で、順番を譲る・貸し借りをするなどの社会的な関わりも自然に育ち始めています。

特に印象的だったのは、葉っぱを取りたくて自分で考え、台を動かして手を伸ばして取ろうとする姿。

「やってみたい」という気持ちを出発点に、自分の力で考え、体を使って実現する姿に、子どもの成長の力強さを感じた。

○本日の活動

・3、4歳児の姿

子どもたちは園庭や散歩で出会った落ち葉・どんぐり・松ぼっくりなどの自然物を使い、友だちを誘い合いながら遊びを広げる姿が多く見られた。落ち葉集め・焚き火ごっこ・自然物での料理づくりなど、秋の自然に親しむねらいに沿った活動が展開されていた。

・5歳児の姿

4月当初は、一人で過ごす姿や遊びが続きにくい姿が見られたが、関わり方の援助や友だちと一緒に楽しむ経験を積む中で、友だちを誘う・助け合う・声をかけ合いながらあそびをつくるといった姿へと成長してきた。当日は、散歩で集めた自然物を使ったごっこあそび・さつまいものつるを使った電車ごっこ・うんていを友だちと挑戦・「どんぐりレストラン」での協同あそびなど、友だちと深く関わりながらあそびこむ姿が多く見られた。特に、赤い実を取ろうと挑戦した子が、自分なりに折り合いをつけてあそびを切り替える姿、たこ焼きごっこでうまくいかない友だちを助ける姿など、子どもの主体性と社会性の育ちが感じられた。

・異年齢での関わり

3・4・5歳児は同じ園庭で過ごしており、年長児が自然に年下に声をかけたり、一緒に活動に招き入れたりする姿が多く見られる。当日も、どんぐりレストランに年少児が入り込む様子が見られ、年長児が思いやりを持って関わろうとする姿が印象的であった。

・0、1歳児の姿

同室の中で発達差が大きい、一人ひとりが安心して興味を伸ばせるよう、安全に配慮しながら環境を整えている。室内は狭いこともあり、可能な限り戸外に出て過ごす時間を大切にしている。当日も戸外でのびのびと体を動かす姿が見られた。

・2歳児の姿

普段通りの姿を見ていただいた。9 時頃までは他クラスへ行き、「行ってきます」と言ってぱんだぐみやぞうぐみ、小さいクラスにあそびに行くなど、園内を自由に探索しながら関わりを広げている。

1 歳児の時に十分にできなかった探索活動を保障するため、扉を開け、行ける範囲を明確にしながら自由に動ける環境を整えている。

戸外では、ストライダー・泥んこあそび・遊具あそびなど、それぞれが好きなあそびを選び、じっくりあそぶ姿が見られた。

またこの日は誕生会があり、「その子が主役であること」を大切に、友だちとほっこりとした雰囲気でお祝いする様子が見られた。

5. 感想や質疑応答

- ・ 自然物を活かした遊びや、危険を必要以上に制止しない関わりから多くの学びがあった。
- ・ 子どもが「やってみたい」を起点に挑戦し、折り合いをつけながらあそびを展開していく姿が印象的。
- ・ 「滑り台の上り下り」「ブランコの使い方」など、普段止めがちな行動も、環境と見守り次第で学びに変わることを実感。
- ・ 自然環境・少人数という点で自園と似ており、参考になる点が多かった。

Q 避難時の靴の扱いと、避難車をスロープなしでどう下ろすのか？

A 神戸保育所は「出入口がすぐ外」につながる構造のため、靴箱横に“靴を入れる箱”を常に準備しているので、外に出て安全な場所で靴を履く方式をとっている。

- ・ 地震時は、揺れが収まるまで室内で待機し、その後ゴザなどを敷いて外に出られるように道をつくり子どもの安全を最優先して避難するようにしている。
- ・ スロープ設置は現在交渉中。
- ・ 0、1 歳児室の横が事務所のため、職員がすぐ外へ避難車を運び出し対応している。
- ・ 避難訓練は月 1～2 回行い、職員間で動きの共通理解を図っている。

Q 散歩は 3・4・5 歳児みんなで行くのか？目的地は同じ？

A 基本はクラス単位で散歩を実施。

- ・ 0、1 歳クラス、2 歳クラス、3、4、5 歳クラスに分かれて行くことが多い。
- ・ 3、4、5 歳は一緒に行く日も多く、その日の様子に合った距離や場所を選んでいる。
- ・ 0、1、2 歳は季節の変化を感じながら、同じコースを繰り返し回ることもある。
- ・ それぞれの年齢に合わせた環境で季節や地域に触れている。

Q 1 歳児が室内で体を動かしたくなった時、どのように対応しているか？

A 0 歳児が室内にいる場合は、1 歳児はベランダを使い、活動場所を分けて遊んでいる。

- ・ ただし、室内で十分に体を動かすのは難しいため、できるだけ戸外に出る時間を増やしている。
- ・ 天候が悪くない限り積極的に外へ出ることを大切にしている。
- ・ 汚れや濡れについては、日頃から保護者に子どもの姿を伝え、理解を得ている。
- ・ 戸外でのびのび体を動かすことを大切にしている。

6. まとめ

今回の公開保育では、子どもたちが自然の中で主体的に遊び、友だちと関わり合いながら遊びを深めていく姿を見ていただけた。保育者にとっても、参加者の視点から得た気づきや学びが多く、

今後の保育をより豊かにしていく大きな機会となった。引き続き、神戸保育所ならではの自然豊かな環境を活かし、子どもたちの「やってみたい」「あ～たのしかった」を大切にしたい保育をすすめていきたい。

実 施 報 告

【松阪多気地域】松阪市

久保保育園

開催日 令和 7 年11月 17 日(月)

公開保育要綱

【開催年月日】 令和7年11月17日(月)

【開催場所】 松阪市久保町1245番地

社会福祉法人久保福祉会 久保保育園

【日程】

	9:30 ~	9:45 ~ 11:00	11:10 ~ 12:00
日 程	受 付	公開保育	全体会
場 所	多目的ホール	園庭・多目的ホール	多目的ホール

【テーマ】

『心豊かな子どもの健康づくり』

施設概要

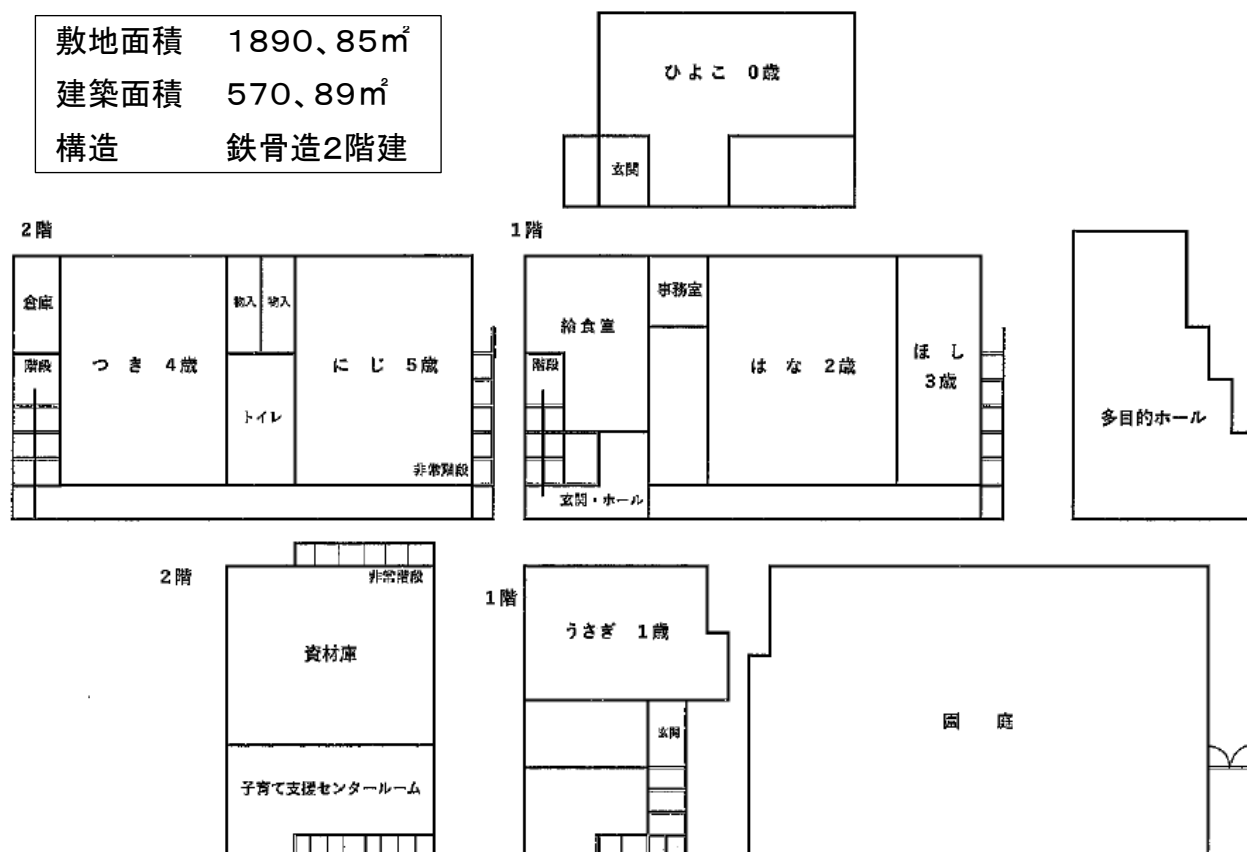
名称 社会福祉法人久保福祉会 久保保育園

所在地 松阪市久保町1245番地

定員 90名

建築年度 令和2年3月新園舎増築

園舎平面図



《めざす子どもの姿》

明るく すこやかな子

考える子

人を思いやるやさしい子

《保育方針》

子ども、親、保育者が楽しいと思える保育

植物のように伸びる芽を素直に伸ばし、遊びを通して人と関わる力を育み、
人に対する信頼感と人を大切にする心、道徳性の芽生えを培う自然体保育

クラス編成及び職員

職 名	年 齢	クラス名	人 数	職員数
保 育 士 (保育補助含む)	5歳児	に じ	21人	2人
	4歳児	つ き	17人	3人
	3歳児	ほ し	20人	2人
	2歳児	は な	18人	4人
	1歳児	うさぎ	15人	3人
フリー保育士				1人
主任保育士				1人
調 理 師				3人
事 務 員				2人
園 長				1人
理 事 長				1人
合 計			91人	23人

久保保育園公開保育 全体会

1 三重県社会福祉協議会 挨拶

2 園長挨拶

3 主任挨拶

保育の取り組み、本日の活動について

4 クラス担任挨拶

食育活動の取り組みを通しての子どもの成長変化について

5 感想

異年齢交流について

- ・3・4・5歳児が集まってみんなが楽しめるゲームをしているのが良いと思った。
- ・異年齢で体操を楽しんでいた。手作りのオリジナル体操で思わず見ている私達も、和やかな気持ちになった。
- ・異年齢のくぼキッズで子ども達が楽しくいきいきと取り組んでいるのが良い。
- ・3・4・5歳児の異年齢交流が見ていて、こちらも楽しかった。

食育活動について

- ・食育の関わりを丁寧にしていて素敵だと思った
- ・1・2歳児も年齢に応じた食育に取り組んでいてよい。
- ・藍染のTシャツがすごいと思った。藍染している藍も育てていてびっくりした。
- ・お野菜クイズの答えも自信満々で答えていてよかった。
- ・食育に関して工夫していることが沢山あるんだろうなと思った。
- ・自園でも食べることは命に繋がるので普段から大事にしているが、動物被害がある為、畑で食べ物が作れない。タケノコを家から持ってきて皮をむく体験をしたりしていたが、こんなに沢山の物を作っていてすごく良いと思った。
- ・保育園の食育を通して子ども達と野菜を育てていて、とても良い体験をしてもらっている。家庭で出来ないことを経験していてよい。先生達が食育に一生懸命取り組んでいるのを見せてもらった。
- ・いい環境で畑で野菜作りをしていて良い。
- ・野菜スタンプをしてバンダナを作っていたり、Tシャツで藍染体験をしたり、クッキングなどいろいろな体験をさせてもらっていると思った。

全体として

- ・驚きの連続で見えてびっくりした。
- ・各クラスに自然物がいっぱいあって、あたたかな雰囲気よかった。
- ・日々の先生達の伝え方が丁寧なんだろうと思った。
- ・年長の子が小さいクラスの子をホールに誘いに声をかけに行っていた。日々の小さいことの積み重ねが大事なんだろうと思った。
- ・どの場面においても子ども達がいきいきしていた。
- ・ままごとコーナーに手作りの椅子や机が置いてあって、椅子が高いと危ないと思っていたが、座布団の高さで危なくていいと思った。作ってみようと思った。
- ・ままごとコーナーが充実していて、自分も手に取って遊びたいと思った。様子を見ていて普段から縦割りのつながりがあるんだと感じた。
- ・自園では、大人が慎重になりすぎて子どもが自然にふれられない。
- ・子ども達がいろいろな体験をしていて主体的になっていたのがよかった。

6 質疑応答

◎3・4・5歳児で集まってゲームをしていたが、毎日しているのか？

- ・毎日ではない。週2・3回出来たらしている。

◎畑に力を入れて取り組んでみえるが、動物の被害はないか？（自分の園は、自然が豊かすぎて動物の被害があるので）

- ・動物の被害はない。

◎5歳児の保育室に、葉っぱ等自然物を使ったくわがたやライオンが作ってあった。あれは、子ども達が考えて作ったのか？先生がアプローチして作ったのか？

- ・子ども達がみんな自分で考えて作った。保育士が1つ見本にはりねずみを作ったが誰も真似しなかった。貼る作業のみ手伝った。

◎外遊びの出来ない雨の日や暑い日の過ごし方は？

- ・ホールで綱渡りロープやビニールプールにボールを入れて出して体を動かして遊んだり、体操をして体を動かしたりして過ごした。（1・2歳児）
- ・今年の夏もとても暑かったので、涼しい時間帯にテントをいくつか出して影を作って、そこにビニールプールを出して、魚、キラキラすくいをしたり、おぼけの的を作って水鉄砲をしたり、ホールにブルーシートを敷いてスライムや色水あそびをして楽しんだ。（3・4・5歳児）

◎3・4・5歳児で体操やゲームをしていた。お姉ちゃん、お兄ちゃんを慕っていたが一緒にする子は決まっているのか、決まっていないのか？

・決っていて、いつも同じペアでしている。

◎お野菜クイズの時に司会を年長の子がしていたが、交代で司会をするのか？

・2人で司会をする予定だったが、1人体調不良で欠席になった。誰が司会をするのが良いかみんなで話し合って決めた。

◎藍染は初めてしたのか？毎年しているのか？

・昨年はしていないが一昨年前にした。今年で2回目で経験があっつなげられた。

◎畑で野菜作りは、失敗したことはないのか？

・畑は園長が中心に取り組んでいる。野菜作り、米作り、おいも掘りを毎年している。種類にこだわらず、その都度栽培できるものを作っている。

◎ままごとの具材がこまかく作ってあったが、どういうことを工夫されているのか？

・子ども達がままごとが好きで「どんぐりを使いたい」等子ども達からの声を聞いてそれにあわせて作っている。(4歳児)

◎ままごとの内容は、季節によって変えているのか？

・はなぐみ(2歳児)のままごとコーナーの壁に窓の壁面が貼ってあり、季節によってかえている。

実 施 報 告

【桑員地域】桑名市

多度保育所

開催日 令和 7 年11月 19 日(水)

【公開保育要項】

1、開催年月日 令和7年11月19日(水)

2、開催場所 桑名市北猪飼300番地1

桑名市多度保育所

3、日程

9:20～	9:30～	11:00～	12:00
受付	公開保育	全体会	閉会
	各保育室・園庭	遊戯室	

4、公開保育テーマ

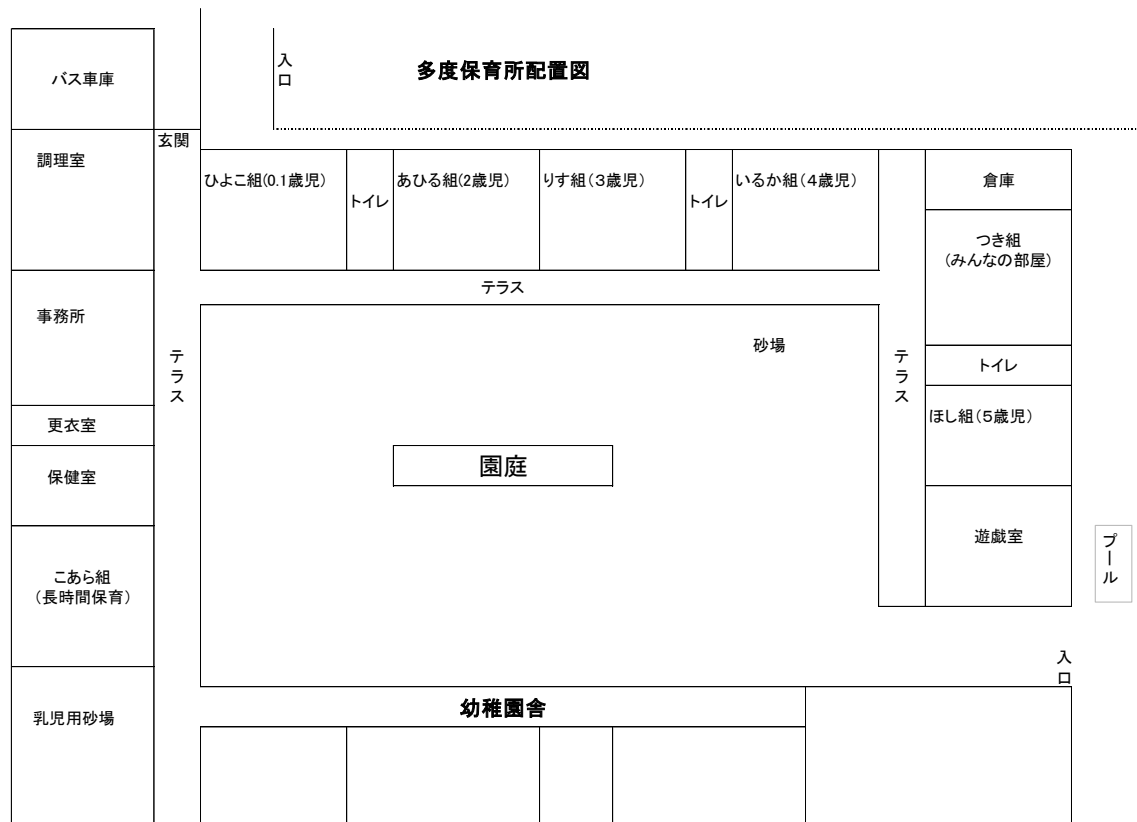
『自然と人との豊かなかかわりをとおして主体的に遊ぶ子ども』

～絵本の世界から広がるあそび～

【施設の概要】

名称	桑名市多度保育所
所在地	桑名市多度町北猪飼 300 番地 1
定員	120 名
敷地面積	1787 m ²
建物面積	956.64 m ²

【園舎配置図】



【保育所のプロフィール】

三重県の北端に位置する桑名市多度町は、東には揖斐・長良・木曽の三大河川を眺望する多度山のふもとに鎮座する多度大社、四季折々の自然美に恵まれています。歴史と自然と産業の調和が感じられ多度大社のすぐそばにある多度保育所は、美しい自然に囲まれた立地、自然いっぱいの環境で園庭もとても広く、子どもたちは、豊かな自然環境を生かし、戸外活動を中心にのびのびとした雰囲気の中で過ごしています。

【保育目標】

- ・人とかかわりの中で、人に対する愛情と信頼感を持ち、自分も友達も大切にする子どもを育てる。
- ・豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。
- ・自分で考え行動する子を育てる。
- ・ちがいを認め合い助けあう子どもを育てる。
- ・自然や社会の事象に関心をもち命を大切にする子どもを育てる。

【クラス及び職員構成】

クラス名	年齢	園児数	職員数
ひよこ	0.1 歳児	7 名	2 名
あひる	2 歳児	11 名	2 名
りす	3 歳児	14 名	2 名
いるか	4 歳児	16 名	3 名
ほし	5 歳児	22 名	3 名
週休補助保育士			1 名
家庭支援保育士			1 名
乳児保育加配保育士			1 名
延長保育加配保育士			1 名
通園バス添乗員			1 名
保育補助員			1 名
看護師			1 名
主任			1 名
所長			1 名

多度保育所公開保育 全体会

1、 三重県社会福祉協議会 次長挨拶

2、 桑名市幼保支援課 主幹挨拶

3、 所長挨拶

園の実状、保育の取り組みについて

4、 各担任から保育の説明

クラスの様子、子どもたちの成長や変化、本日の活動について

5、 感想・質疑応答

- ・ 自園でもサークルタイムを行っている。自園は小学校のように、保育者の方を向いて座っているが、多度保育所は円になって座っていた。みんなの顔を見ることができてよい雰囲気だと思った。絵本を見る時、床や椅子など、自分で選ぶことができるところがよかった。4歳児クラスの手作りの「こん」の人形は子ども一人に対して一つあるのは愛着があってよいと感じた。3歳児はごっこあそびの中でテラスの床に線が引いてあり、遊びの中でルールが自然に学んでいた。乳児の保育室には、天蓋や手作り玩具があってよかった。水道の前には鏡が設置してあり自分の姿を確認できてよいと思った。
- ・ 4歳児クラスのサークルタイムでは、友達の話聞く、自分の意見を伝える姿が印象的だった。「こん」の人形をプールへ入れてあげたいとプールへ連れて行っていたという話を聞いた。このような姿から絵本の世界に浸って楽しんで遊んでいる子どもたちの姿が目につく。運動遊びでも絵本をモチーフにして楽しんでいた。
- ・ 異年齢での関わり(マラソンや遊びなど)があるからこそ、他のクラスの子のことを考えて動物園へ誘う姿や優しく接する様子が見られるのだと感じた。絵本のイメージを持って遊ぶことで、遊びが広がり持続していくことはよいと感じた。

- ・マラソンでは、みんなで走っていることが印象的だった。みんなで走ることで、年上の子の様子を見て楽しそうに走ったり年下の子を誘ったり、異年齢だからこそ生まれる楽しさや雰囲気があると感じた。4歳児の運動遊びでは、一人でくぐることから友達と二人でくぐることに発展し、それぞれが関わり合ってやり取りを楽しみ、想像の世界で楽しんでいた。集まる合図も言葉のかけ方を工夫することで楽しそうに集まる子どもたちの姿が印象的だった。

- ・自然を存分に使った遊びが印象的だった。スロープを使ったどんぐり転がしがすごく楽しそうで、どの年齢でも楽しめ、自然に異年齢で関わって遊ぶ姿があった。落ち葉や木の実など自然を使いながらどの年齢の子も楽しめる遊びの設定がすごいと思った。

- ・テラスが広く、自然な異年齢の関わりが多く見られたのがよかった。絵本の取りみは単年か?継続してか? また、絵本を選ぶ基準などはあるのか?

→所長より：期間は継続して行っている。園内研修で学びたいことを話し合い、去年から進めている。遊びに取り入れる絵本は、年間計画を立て考えている。計画なので同じ絵本での遊びが長く続いたり、逆に子どもに響かなかったり様々な姿がある。

→5歳児担任より：昨年度、3歳児の担任をしていた。子どもたちは、「ばけたくんシリーズ」の絵本が大好きだった。子どもの中には、おばけや鬼を「怖い」と感じる子もいたため、おばけや鬼に対する感じ方や受け止め方は一人ひとり違うことを知ってほしいという思いをもって、この絵本に取り組むことにした。遊びの盛り上がりが落ち着いてくる時期もあったが、子どもたちの「ばけたくん」への思いをもとに、職員間で話し合いながら環境を整えていくことで、1年間を通して楽しむことができた。今年度は、「めっきらもっきらどおんどん」や「やなぎむらシリーズ」を予定していたが、動物園での経験をきっかけに、取り組む絵本を変更した。

→4歳児担任より：子どもの様子を見て絵本を決めている。去年担任した5歳児では、製作が得意な子が輝けるようにと取り組んだ。去年度から取り組んでいることもありイメージの世界に自然に入り想像して楽しむ姿が多くみられている。

- ・ 自園では、主体性保育について取り組んでいる。子どもを主体にすることは大切だと思う。子どもの意見を全て受け入れることは難しい所もある。電車ごっこが微笑ましかった。

- ・ 3歳児では絵本選び当番があり、自分で選ぶからしっかり集中して見ているのだと感じた。4歳児5歳児のサークルタイムは丁寧に時間をとっていると感じた。自園は3、4、5歳児混合クラスなので、3歳児は集中して聞くことができる時間は短く、5歳児はじっくり時間を設けたいとの思いがあり時間設定に難しさを感じている。4歳児のフープを片付ける場面では、フープを片付けられない子もいたが、片付けをしないことを担任から注意をするのではなく、友達と一緒に持てるよう声を掛け、片付けを気付かせるようにしていたところがよかった。テラスに道路の線が引いてありどの年齢でも使えていた。園としてこうしていこうと話す時間はどのように捻出しているか？

→ 2歳児担任より： 乗り物が好きで、テラスに線を描きガソリンスタンドも用意した。そこから3歳児が横断歩道を追加し、一緒に楽しむようになっていった。2歳児から始め、他のクラスにも波及していった。絵本の取り組みから園内研修などで各クラスの取り組みを知ることができ交流も増えたと感じている。

実 施 報 告

【三泗地域】四日市市

内部保育園

開催日 令和 7 年11月 28 日(金)

公開保育要項

【開催年月日】 2025年11月28日（金）

【開催場所】 四日市市立内部保育園
四日市市采女町1576-1

【日 程】

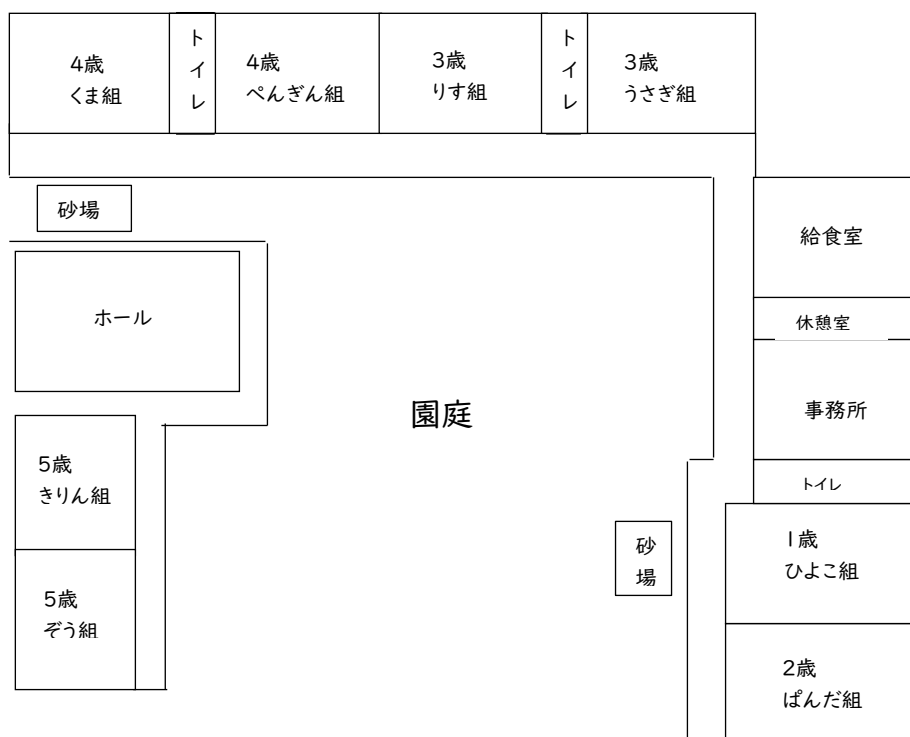
9:15		9:30	11:00	12:00
日程	受付	公開保育	全体会	閉会
場所	ホール前 テラス	各保育室 園庭・テラス	ホール	

【テ マ 】

ひかりかがやく みんなのえがお
～みつかる! つながる! “うきうき” “わくわく”～



【園舎平面図】



施設概要

- 【名称】 四日市市立内部保育園
 【所在地】 四日市市采女町1576-1
 【定員】 144名(2025年4月～)
 【沿革】 昭和45年4月 内部保育園設立 定員120名
 昭和53年4月 増築(保育室1部屋及びテラス) 定員150名
 平成9年 地域在宅児との交流(あそぼう会)開始
 平成11年 プレハブ園舎増

内部保育園 めざすこどもの姿と園目標

心身ともに健やかにたくましく生きるこども

- ◎健康でしなやかな心と体を育み、基本的生活習慣の育成を図る。
- ◎自ら考え、行動できるこどもを育てる。
- ◎自然や地域の人とのふれあいを大切にし、豊かな感性を育む。
- ◎互いの違いに気づき、認め合い、共に考え行動する力の基礎を培う。



【クラス編成及び職員構成】

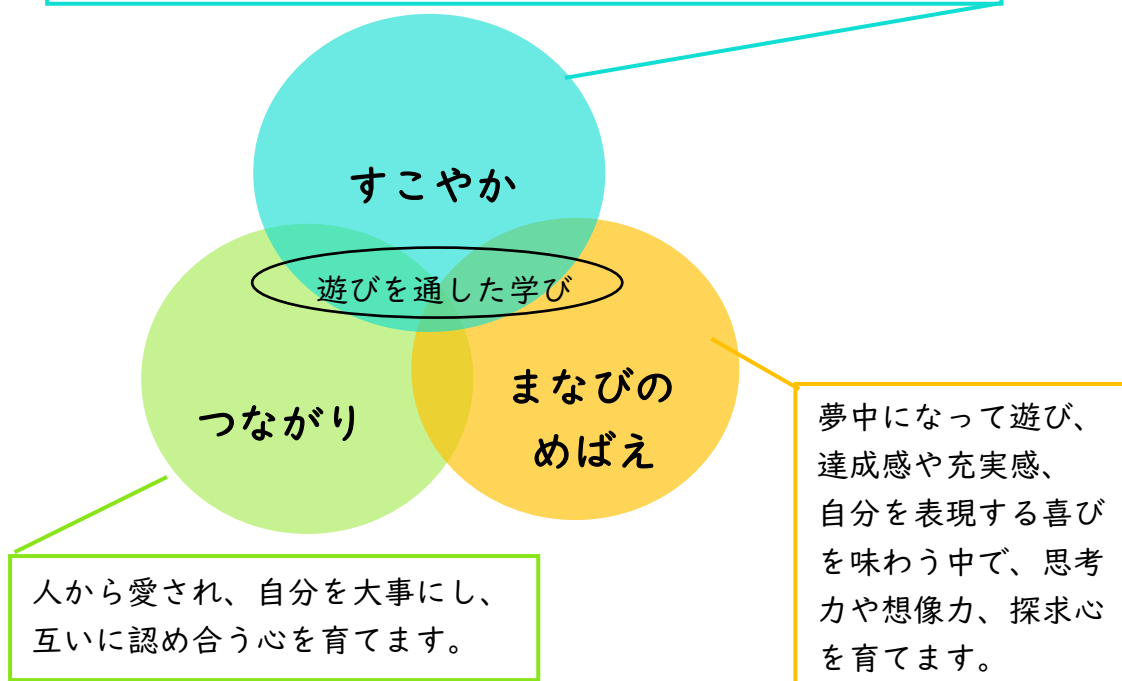
年齢	クラス名	園児数	担任	カラー帽子の色	その他の職員
5 歳児	ぞう	19	3	ピンク	・園長 1 ・主任 1
	きりん	20	4		
4 歳児	くま	17	3	黄緑	・クラス支援保育士 1 ・ブロックフリー保育士 1
	ぺんぎん	18	3		
3 歳児	りす	16	3	オレンジ	・保育補助（早朝・長時間・ 休憩対応パート） 20
	うさぎ	16	2		
2 歳児	ぱんだ	18	3	水	・子育て支援（あそぼう会） 1
1 歳児	ひよこ	12	3	個人帽子	・事務支援 1
合計		136	24		・用務員 1

四日市市のめざす就学前教育・保育

四日市市では、『四日市市教育大綱』においてめざすこどもの姿として《夢と志を持ち、未来を創るよっかいちのこども》を掲げています。

このめざすこども像にもとづき、乳幼児期の育ちを「すこやか」「つながり」「まなびのめばえ」の3つの視点でとらえ、就学前教育・保育において、こども自身が心を揺り動かす豊かな体験を重ね、多様な人との関わりの中で「生きる力」「共に生きる力」を育むための望ましい教育・保育を創造しています。

安全で、安心した環境のもと、しなやかな心と体を育てます。



内部保育園では・・・

『主体的な遊びを通しての学びの充実』を大切にしています。「今、この子は何に関心を寄せているのだろう？ 何に興味を持っているのだろう？」と年齢・発達やこどもの姿をみとり、こども自らが夢中になって遊びたいような環境を職員間で考え合い、こども一人ひとりがいきいきと過ごせるように日々の保育を振り返り次の実践につなげています。

夢中になって遊ぶことは、思考力・想像力・探求心を育てます。“やってみたい!と思うこと”、“友だちと一緒に考え合うこと”、“失敗しても大丈夫!と次に向かおうとする経験”は、“最後までやり抜こうとする力”“人とコミュニケーションを取ろうとする力”“気持ちをコントロールする力”を育むことにもつながると考えます。

また、自然に恵まれた地域性を生かした園外保育のなかで、こどもの成長と発達の基盤となる“体づくり”も大切にしています。

四日市市立内部保育園 公開保育 全体会

1. 三重県社会福祉協議会 部長挨拶

2. 内部保育園園長 挨拶

3. 園の実情や取り組みについて

- ・令和 5 年 4 月に開設された四日市市幼児教育センターは、就学前教育・保育の質の向上を図るため、公立私立を問わず市内の幼稚園・保育園・認定こども園・地域型保育所の職員が利用できる。自園の職員も幼児教育センター主催の様々な研修に参加し、教材を借りたり、保育のヒントをもらったり、アドバイザーによる訪問や相談をしたりしている。
- ・自園は自然にめぐまれた環境にあり、保護者の方々はこどものことをとても大事に考え、保育参加や保護者講演会などにも積極的に参加するなど園に対する理解と協力をいただけている。こどもたちも穏やかな姿が多く見られる。
- ・予測不能なことが起こり得るこれからの時代を生きていくこどもたちの未来を考えた時、保育の中で“非認知能力の育成”や“こどもが主体的に学ぶ・遊ぶ”ことが重要だと言われている。最後までやり抜こうとする力、人と上手にコミュニケーションする力、気持ちをコントロールする力をつけていくためには、こどもが自分から“やりたい”と遊び出し、友だちと一緒に考えあい、失敗しても“大丈夫!”と次に向かおうとする、夢中になって遊ぶことが大事だと考える。
- ・こども主体の保育については、たくさん悩み、何度も話しあっている。4, 5 歳児は“こども会議”と称して、“どんなことがしたい?” “じゃあ、どうする?”とこどもと一緒に考えあう時間をもっている。「共主体」として、大人も意見を出してもいいことの確認をしている。職員がつきすぎて、こども間の壁になり力を奪わないようにしたい。
- ・特に低年齢児は大人との愛着関係をしっかりつけることで、こども自身が“この人は私のことをわかってくれる” “この人といると安心できる”と感じ、自ら動き出すことや、人を信頼し、やがてこども同士がなかまとしてつながっていける基礎の部分的大事にしている。
- ・また、自園には特別な支援が必要なこどもやアレルギー除去対応が必要なこどもも多数在園している。こどもも大人も、一人一人がそれぞれ大切な存在であり、違いがあることを“豊かである”と感じ、日々の生活や保育の中でも活かしていけるように考えあっている。保護者とも対話を大事にして思いを聴いたり共に考えあうようにしている。
- ・内部地区は自然に恵まれているので、四季を感じながら散歩をしたり、地域の方と触れ合ったりしている。“うつべっこはげまし隊”の方による畑の活動や伝承遊びなど、年間を通してたくさんの方にお世話になって園が成り立っている。

4. 各クラスで大事にしていること

- ・1歳児…気持ちを受ける関わりとスキンシップをとりながら、安心できることや愛着関係を築いくことを大事にしてきた。行動範囲がひろがっているが、担当制をとる中でどうすれば安全を守りつつこどもの“やってみたい”をかなえられるのか、日々話し合っている。
- ・2歳児…こどもたちの「なんだろう」「やってみたい」「やってみよう」の気持ちを大事にし、こどもたちがそう思った時にできるよう、環境を設定したり、保育者も一緒に発見などの喜びに共感してきた。今日のドーナツ屋さんごっこも、こどもたちの声からドーナツを身近に感じているものだとわかり、環境を考えこどもと一緒に遊びながら作った。こどもたちの思いに寄り添い、考え、安心して楽しいと思えるような保育をしていきたい
- ・3歳児りす組…安心できる保育者との遊びを大切にして関係を作ってきた。徐々に友だちとの関わりが増えてきている。引っ越し遊びやむっくりくまさん、箱を使ったごっこ遊びや自然物を使った遊びなど、その日限りではなく、翌日にもつながる遊びになってきている。大好きな友だちと遊びたいという思いと、うまく伝えられず手が出てしまう姿があり、一緒に考えたり保育者がお互いのおもいを伝えることを大事にしている。
- ・3歳児うさぎ組…好きな遊びを自分で選ぶこと、夢中になって遊ぶことを大事にしている。その中で友だちの存在に気づいたり好きな友だちを見つけたり、一緒に楽しいと感じられるといいと考えている。“やってみたい”の気持ちが大いこどもたちなので、いろいろな経験ができるようにたくさんの遊びを提案しながらこどもの声や要求をかなえていきたい。
- ・4歳児ぺんぎん組…友だちとの関わりやつながりが増えた分、思いの違いやズレからトラブルも多くなったので、気持ちを伝えることへの援助をしている。また、「〇〇してもいい？」と聞く姿が多かったので、こども会議でどうしたいのかを出し合ったり投げかけたりしている。こどもたちが気持ちの共有をしていけるようにしたい。
- ・4歳児くま組…好きな遊びを楽しんだり、行事など共通の経験を重ねることで、友だちと誘い合って遊ぶ姿が増えてきている。鬼を決める時や「〇〇のときは△△ってことにしよう」と簡単なルールを自分たちで決めようとする姿が出てきた。その中では自分に都合のよいルールを押し通そうとするなど、友だちとぶつかる姿もみられるようになってきたが、自分の思いを出す、相手の思いを知る機会として大切に関わるようにしている。
- ・5歳児きりん組…気の合う友だちと一緒に生き物の世話をしたり図鑑で調べたり制作をしたりすることが好きなこどもたちである。その中では、「もっとしたい!」「自分が!」の気持ちが強く出てぶつかり合うこともある。相手の表情

を見たり気持ちや伝え方などを考えあうことを大切にしたい。また、日々話し合う時間を持ち、自分たちで考えて、決めて、実現することでの充実感や達成感を感じられるようにしている。

- ・5歳児ぞう組・・・「保育園最後の1年を楽しもうね」と話していた矢先に一人の退園が決まり、“寂しいね”という思いをもち、みんなで一緒に過ごすって楽しいをしっかりと感じているクラス集団である。5歳が主催となる秋祭りで、自分たちの思いを出し合い、思いを形にしてく楽しさ、面白さ、そしてやってみたらもっと楽しかった、面白かった、小さい子が喜んでくれたという思いが、達成感や自信になり、その後の運動会もこどもたちが自ら考えた取り組みになった。自分たちで考えたことや思いを、みんなで話し合って共有し、自分たちで考えたり、選んだりしていけるクラスづくりをしていきたい。

5. 質疑応答、感想等

- ・2歳児でおやつ前の排泄が「いやだ」「まだあそびたい」と言う子に対して、「遊びたい？トイレに行って来てもいいよ」とこどもが選べる声をかけていた。自分がやりたいことをやりたいという気持ちが育ってきているクラスだと感じた。
- ・おやつも一斉に食べるのではなく、食べたい子が自ら自分の席に運んでおり、こぼさず運ぶという調整力がついている。
- ・2歳児は大人が3人だが机は4つだった。どうしてなのか？
 - ⇒ 最初は3つで担当のグループのこどもを把握するようにしていたが、机が狭いため食器が多い時などは誰のものかがわかりにくい子がいた。こどもの姿に予測がたちやすい今は、余裕をもってみんなが楽しく食べられるよう4つの机を使っている。アレルギー除去の子もいるので、間違いがないよう十分に配慮している。
- ・2歳児は、おやつの前に外に行っている子もいたが、グループで出ているのか？
 - ⇒ 今日1グループが朝のうち外に出た。18人いるのでなるべくゆったりとすごせるように、グループを中心に室内や戸外で分かれているがメンバー等は柔軟性をもたせている。
- ・1歳が、砂場で4歳児の使っていたおもちゃに興味を持った。こどもは担任の声掛けで動き出したのだが、その子どもの姿を見守り、「どうしたい？やってほしいの？」とこどものことを待ちながら要求に応えたり、その後の姿も目で追い、こどもの満足そうな姿にもしっかり声をかけていた。1歳児なりにやりたいことが明確にあり、達成感を感じられていた。
- ・5歳児の自然物の環境設定が素晴らしかった。自然物を使って遊ぶ良さを感じた。自園にはなかなか行ける場所がなく、自然物への憧れがある。
- ・秋祭りでこどもが主体性を発揮したり小さい子のことを考えて準備したりしたことだが、日々の異年齢の関わりはどう意識しているのか？

- ⇒ 行事としては、誕生会等の4,5歳児のペア活動がある。日々の中では、園庭で遊んでいる時に、「入れて」と来たら受け入れたり、長時間保育の際や土曜日保育は異年齢ですごしている。また、空き部屋がなくホールも必ず使えるとは限らないため、普段から散歩や外遊びなどで空いている部屋には異年齢のこどもが入って遊び、戻ってきたその部屋の子たちと関わったりと自然な形で交流は大事にしている。こどもの姿の共有は行う。
- ・5歳児の担任しており年長だけでも80人いて発表会を来週に控えている。自由遊びの時間と行事に関しての時間や制作時間をどうしているのか？
- ⇒ 時間の余裕とそのため計画性をもつようにしている。「いつでもどうぞ」と準備をしておくことで、自分がしたい時間に選んできているので、焦らせたりすることはほぼない。
- ・誕生会の持ち方は？
- ⇒ クラスでの誕生日会はその子の誕生日にしている。(土日祝日などにあたる場合は保護者やこどもと相談)それとは別に毎月4,5歳児の誕生会をお楽しみ(ペープサートや手品やゲームなどその時期のこどもに合わせて)と共にしている。
- ・5歳児が2クラスあり、部屋の環境の違いがあった。楽器、ボードゲーム等共通認識や共通経験はどうしているのか？
- ⇒ 同じことをしなければいけないとは考えていないが、お互いのクラスを気にかけて「なにしているんだろう」「なんだかすてきだね」など、という投げかけをこどものタイミングを見て意図的にして、共通経験に繋げていくようにしたり、保育者同士が“ここはすり合わせておこう”という話し合いはしている。他の年齢も、クラスによる違いはあっていいと考えるが、同じ年齢で経験に大きな差が出ないように、また保護者が差を感じることをないように配慮している。
- クラス打合せ、年齢打合せ、加配会議、3歳未満児打合せ、3歳以上児打合せ、全体打合せ、園内研修など様々な話し合いの機会を大事にして、情報共有や意見交換をしている。
- ・クラスだよりとは別に行事のプリントがあったが、保護者発信への頻度、働き方改革が叫ばれる中での作成時間の工夫は？
- ⇒ コドモンを利用したドキュメンテーションは、どのクラスも配信と貼りだしをしている。担任が“ここ!”と心を揺さぶられた時やこどもの姿を“ぜひ伝えたい!”と思ったタイミングで発信している。作成時間については、こどもの出席状況によって時間を工夫できることもあるが、なるべくタイムリーに…と思うと自分の時間を割いている場合が多いのも実情である。

実 施 報 告

【津地域】津市

清泉愛育園

開催日 令和 7 年12 月 17 日(水)

公開保育要項

1. 開催園名 社会福祉法人 清泉福祉会 清泉愛育園

2. 開催地 三重県津市新町1丁目8-13

3. 期 日 令和7年12月17日 水曜日

4. 日 程 9:30 ~ 受付開始 3F ホールにて

公開保育内容説明

10:00 ~ 11:00 各保育室にて公開保育

11:15 ~ 12:00 フラザ洞津へ移動して
全体会

12:00 閉会

5. 開催テーマ

「たのしい！ やってみよう！ 意欲をはぐくむ保育！」



法人概要

社会福祉法人 清泉福祉会 清泉愛育園

運営実績

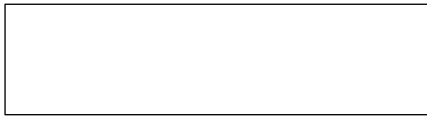
- 昭和 47 年 5 月 社会福祉法人 清泉福祉会として認可を受け、清泉愛育園を開園。
- 平成 16 年 7 月 現在の理事会の体制で運営を引き受けた。当時定員 60 名(当時 38 名の園児)
その後、延長保育施設の改修工事など進める。
- 平成 26 年 4 月 定員を 70 名に変更
- 平成 29 年 1 月 近隣の保育所(旧さつき保育園) が閉園の話が持ち上がる。
- 平成 29 年 4 月 保護者や地域の要請で園児の大部分を受け入れる。
同時に旧さつき保育園の園舎を買収し改築を 1 年間で終了する。
- 平成 30 年 4 月 定員を 90 名に変更と同時に現在の園舎がある津新町へ旧園舎より移転
- 平成 31 年 2 月 2 回目の第三者評価を受審(令和元年 5 月 三重県ホームページに公表)
- 令和 2 年 4 月 ICT 化を導入。同年 9 月には三重県の働き方改革 モデル保育所事業に公募。
- 令和 3 年 4 月 三重県のホームページに働き方改革 (ICT 化) モデル保育所として動画が掲載。
- 令和 4 年 2 月 「職場環境改善など魅力ある保育所づくり」で県より表彰を受ける



施設の設備



鉄筋コンクリート造 3 階建
保育室全室冷暖房・床暖房完備
太陽光発電の導入
警備会社による警備充実
ICT の導入
110 番 非常通報装置設置



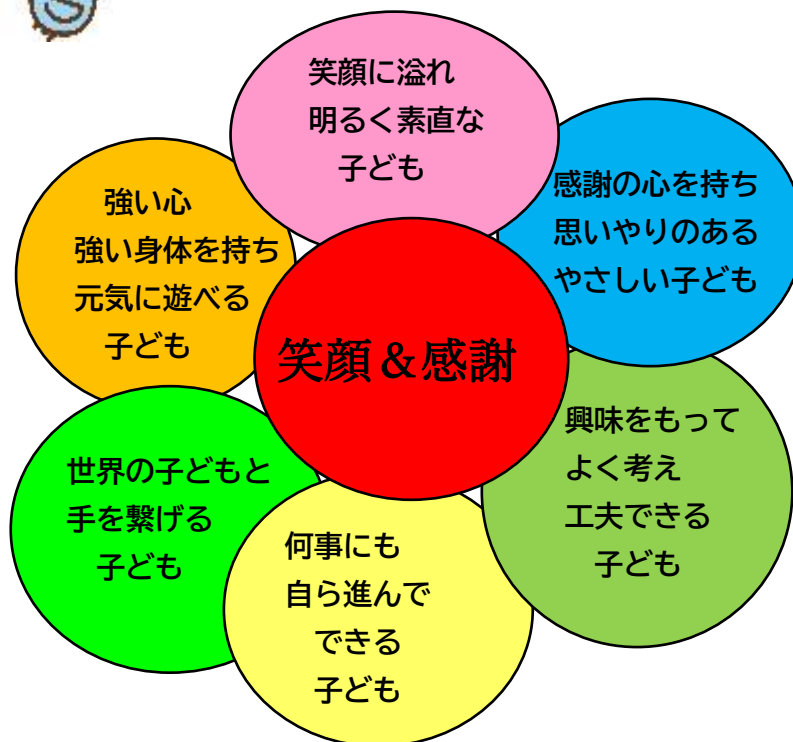
- ☆ 夢は必ずかなうと信じて希望を持ち続ける子どもの育成。
- ☆ 家庭的な雰囲気の中で1人ひとりを大切に、心身共に円満でたくましい子どもに育成する。
- ☆ 保護者との連携、信頼関係を作ると共に、地域の人々とのふれあいを大切にしながら、明るく楽しい園生活を過ごす。

保育方針

- ◎ 「笑顔と感謝」の気持ちを大切に、愛がいっぱい溢れる保育園。
- ◎ 「命の大切さ」「本当に強い子は人にやさしくできる子」と、日々語り続けています。
- ★ 保育士も子どもも保護者も保育園に関わる全ての人が笑顔いっぱい
- ★ みんな大好きみんな友だち
- ★ 1人ひとりが主役に…



《保育目標》



社会福祉法人 清泉福祉会

清 泉 愛 育 園



三重県津市新町1丁目8-13

TEL 059-228-6380

FAX 059-253-5455

社会福祉法人清泉福祉会 清泉愛育園

理事長 安藤 孔一・学園長 安藤 智子

園長 牛場 まさ子

定 員	90 名					
年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
クラス名	ふたば組	ゆり組	すみれ組	れんげ組	たんぽぽ組	ひまわり組
園児数	7 名	1 5 名	1 8 名	2 0 名	2 0 名	1 9 名
担任数	3 名	3 名	3 名	3 名	3 名	2 名
職員数	園長1名、保育士23名、事務2名、調理4名、看護師1名					
開園時間	午前 7 時 ~ 午後 7 時					
年間行事	4月 入所、進級、尿検査、健康診断 5月 子どもの日のつどい、親子遠足 6月 歯みがき指導(幼児クラス) 人権移動教室 7月 ディキャンプ(5歳児) 七夕のつどい、新町小学校教諭への公開保育 8月 夏祭りごっこ 9月 運動会、交通安全教室(5歳児) 10月 歯科検診、健康診断、津まつり参加(4, 5歳児)、保育参観、芋掘り、ハロウィン 11月 七五三詣り 12月 生活発表会、花育(5歳児)、クリスマス会 2月 清泉美術展 3月 ひな祭り、卒園式(5歳児)					
毎月行事	身体測定、お誕生日会、絵本読み聞かせ(2~5歳児)、絵本貸し出し(3~5歳児)、避難訓練(火災、地震、不審者等)					
外部講師による指導	英語遊び(2~5歳児・月2回程度)、体操教室(5歳児・月2回程度) スイミングスクール(4, 5歳児・年間7~8回)、習字遊び					
地域交流	にこにこ広場(子育て支援事業) かけはしプログラム(小学校との地域交流) 近隣への挨拶(年2回)					

清泉愛育園園歌

作詞・作曲 安藤智子

1, 笑顔のお花が園庭に 明るく楽しい歌声が

大空高くひびく 清泉愛育園



2, 高虎公の遺志を継ぎ 輝く津の街いつまでも

強い心の子が育つ 清泉愛育園

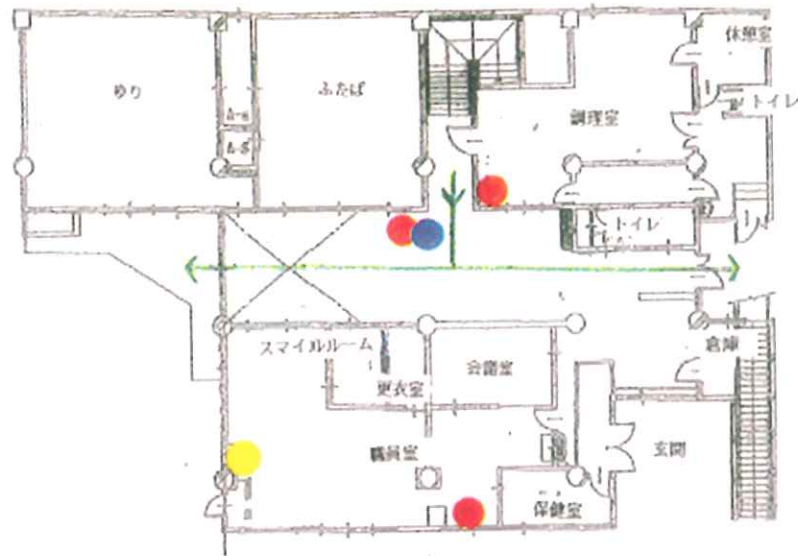
3, みんなで大きな輪をつくり 仲良く楽しく遊びます

世界の子どもと手をつなぐ 清泉愛育園

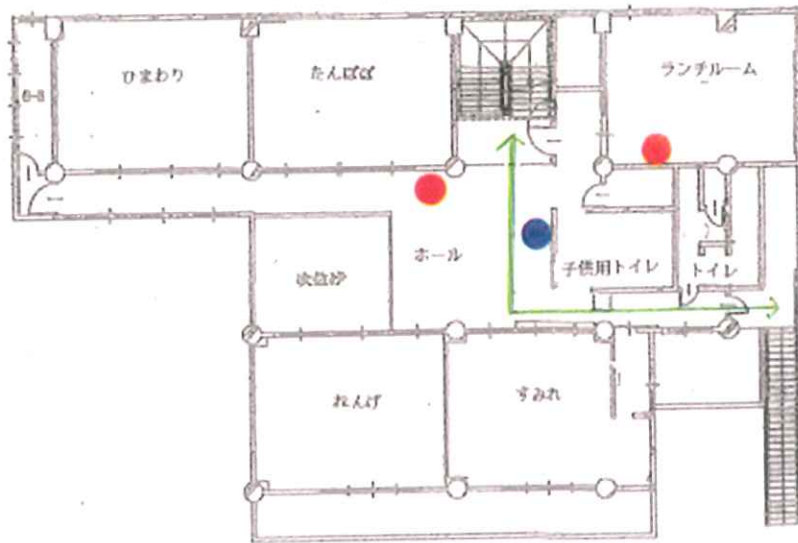


園内図

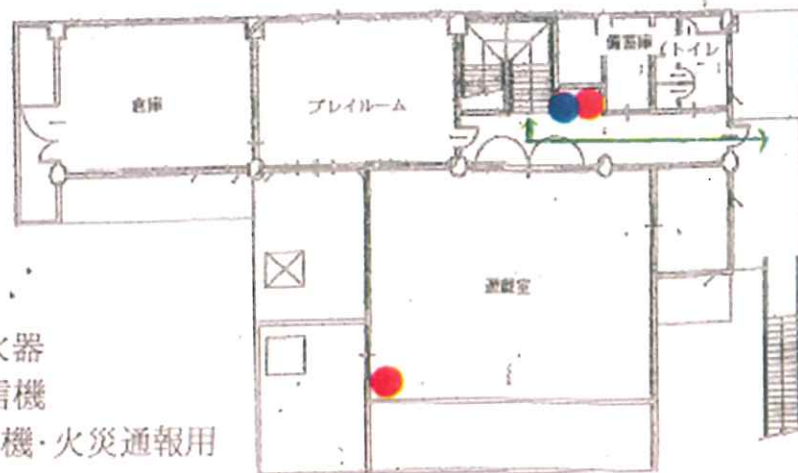
1F



2F



3F



- 消火器
- 発信機
- 受信機・火災通報用

1, 三重県社会福祉協議会 福祉研修人材部 部長 山崎様 ご挨拶

2, 社会福祉法人 清泉福祉会 清泉愛育園 園長 牛場まさ子挨拶

☆ 本園は市街地にあり自然に恵まれた環境ではないですが少しでも子どもたちに植物との関わりを持つ機会ができるようにと思い、畑でさつま芋・玉ねぎを、またプランターでキュウリ、茄子・オクラ・スナップエンドウなどを栽培し、植え付けから収穫までの生長の様子を観察し、給食に使用したり 5 歳児のデイキャンプでのカレーの材料にしみんなで食しました。小さな畑ではありますが、春にはさつま芋、秋には玉ねぎを植え、子どもたちと一緒に水やりや草引きをして生長を見守り収穫を楽しみにしています。今年も、10 月にみんなで芋掘りをしてとれたお芋は一人一つずつ家庭に持ち帰りご家庭でも収穫を祝ってもらいました。本日の保育は 2～5 歳児は園内で栽培しさつま芋の収穫後の芋蔓やさつま芋を使った製作活動を、0・1 歳児は普段の活動をベースに保育室や 1 階フロアでの活動を見ていただきました。

3, 保育の説明

☆ 清泉愛育園らしい保育を見ていただこうと、例年取り組んでいるさつま芋の栽培や花育からヒントを得て、子どもたちが大好きな製作活動と合わせて 2～5 歳児は時節に合うクリスマスに向けた製作活動を計画しました。今回さつま芋の蔓をリースの形に仕立てたのは、近隣小学校との「架け橋プログラム」の中で小学校にご招待いただくおもちゃ祭りへのお礼として、例年さつま芋蔓や自然物（どんぐり・松ぼっくりなど）を使ったリースを届けている事をヒントに 4・5 歳児の製作に取り入れました。

5 歳児はミルク缶に芋蔓を巻き付けリースの形を作るところから、4 歳児は保育者がリース型にしたところに飾りをつけるというところから製作に取りかかりました。又、3 歳児はツリー型にした芋蔓に、2 歳児は芋スタンプでリースをと、それぞれの年齢に合わせたクリスマス製作を行ないました。1 歳児は天候に左右されないように 1 階フロアや保育室で体を使う遊びをメインにしたコーナー遊びを、0 歳児は月齢差（8 ヶ月～1 歳半）を考慮し感触遊びを見ていただきました。

各クラス冊子にある指導案の内容を考えなおすところもあり、試行錯誤を繰り返しながら本日を迎えております。お見せする映像は、先日発表会の時に保護者様に向け作った映像です。日頃の子供たちの様子を見ていただけたらと思います。また本日の保育で使用したさつま芋の栽培の様子の写真も合わせてご覧ください。

4, 保育の振り返り

☆ 0歳児(ふたば組)

- ・ 布・スポンジなど素材の感触を味わい、指先の発達を促し、遊びを楽しむこと、また好奇心や情緒を育て社会性や安心感を育むことをねらいとして活動しました。子どもたちに無理のない姿勢で遊べるスペースを確保し、落ち着いて活動することが大切だと考え、言葉でのやりとりは難しいため、気持ちを代弁したり、表情や動きで表現したりできるように関わり、主体的に遊べるようにしました。これ

からも一人ひとりの反応やペースを大切にしながら、様々な経験を積み重ね、やってみたいという思いを育てていきたいと考えています。

☆ 1 歳児（ゆり組）

- ・ 体を動かして遊ぶ事が好きな子が多く、園庭やフロア・ホールで遊んだり音楽をかけて体操したりして毎日過ごしています。本日は、フロアで平均台、滑り台 ドレミマット・ロディを用意して体を充分に動かす遊び、又、保育室ではじっくりとパズルや型はめをする遊びの二つを設定し自由に行き来できるようにしました。運動遊びの際には、安全面に配慮し、遊具の下にマットを敷いたり、遊具と遊具の間を空けたりして、遊具のそばに保育者がつきすぐに手を差し伸べられるように声を掛け合って見守るようにしました。また 4 月に比べるとずいぶん歩行もはっきりしてきましたが、思わぬところで転ぶこともあるので、遊びを通して体幹を鍛えることで怪我の防止に繋げていきたいと考えています。遊びを通して簡単な約束事や、順番を守ることを伝えたり「貸して」「いいよ」などの言葉のやり取りができるように心がけています。指先を使った遊びを少しずつ取り入れようとパズルを使ってじっくり遊べるように環境を設定しました。初めての遊びであった為つかみやすい大きさ、わかりやすい形や絵柄の物を用意し、さりげなく援助する中で完成を共に喜びあえるように心がけました。思いきり体を動かしたい子・静かにじっくり遊びたい子と動と静の活動の空間を分け、自由に行き来できるようにすることで、主体性の育成や体幹の発達、友達同士の関わりのきっかけを育てていきたいと考えています。

☆ 2 歳児（すみれ組）

- ・ 乳児らしいゆったりとした雰囲気大切にしながら、クリスマスリースの製作遊びを行ないました。4 月からの製作活動では、水を入れたジップロック・星形スポンジ・広告など、様々な素材を使ってスタンプ遊びをし、今回はお芋掘りをしたことや使うものが自分たちが掘ったさつま芋と理解できるように「さつま芋スタンプ」をしました。12 月から給食でお箸を使い始め、幼児クラスに向け、色鉛筆やはさみを使った製作活動を楽しむ機会が増えていくため、さつま芋は少し大きめのものを選び、指先や手首をしっかり使って押せるようにしました。これまでのスタンプ遊びでもできた模様を楽しんだり、ひっくり返してスタンプの形をのぞき込んだりする姿が見られた為、さつま芋の形もでこぼこしたものを選び、面白い形のスタンプが押せるようにしました。一人ひとりが自由に表現できるようスタンプを押す場所や絵の具の配色や楽しみ方を見本で見せ、製作中の子ども達同士で気持ちの共有ができるよう 2 人ずつ見守りながら製作を行うようにしました。事前に作ったサンタクロースを飾り付けリースの完成となります。幼児クラス進級に向け、楽しく身体全体や指先を使ったり、ルールを知ったりする中で生活に必要な力を養いどんな活動も楽しく前向きに参加するクラスカラーを最大限に活かして自信や意欲につなげて行きたいと思っています。

☆ 3 歳児（れんげ組）

- ・ 身近な自然物に触れながら、感触や色に関心を持ち、イメージを膨らませて自由に表現することをねらいとしてさつま芋の蔓を使ったクリスマス製作として、ツリーを作る活動を行ないました。初めて指先を使った製作をするため、毛糸を巻き付ける活動に子ども達がどの様にするのか、個人差がどれほど現れるのかと考えていましたが、この経験を通して一人一人個性が溢れた作品となりました。そして進級に向けて、一斉活動にも少しずつ取り組み、集団生活にも慣れ、話を聞いて行動する力が徐々に育まれてきました。クラスの友達と楽しんで意欲的に取り組める環境を設定し、子どもたちの想像力を育ませながら、一斉活動の回数や製作の過程を増やし、少しずつレベルアップした活動ができるようにして行きたいと思っています。

☆ 4 歳児（たんぽぽ組）

- ・ さつま芋の蔓に飾りをつけ、クリスマスリースの製作を行うにあたり、指導案の変更点があります。その変更点は、10 月末に芋蔓をリース型にしたところ乾燥による劣化が発生したため、事前に全体にボンドを塗り毛糸を巻いて補強をしたという点です。子どもたちは園庭に出ると、フウセンカズラやオシロイバナに興味を持ち、種を集めたり花を拾ったりしています。今回は、松ぼっくりやどんぐり、ウメモドキや千日紅などの自然物を使ってクリスマスリースの装飾をしました。素材の中から好みの形を探したり友だち同士で話し合いながら作ることで子どもたちの創造力や感性を育むことをねらいとしました。また紙粘土で作ったクリスマスツリーに子どもたちがポスターカラーで色づけしたものをリースの真ん中に吊るします。今後も子どもたちがやってみようとする気持ちを大切に、季節の自然物や素材を使いながら、新しい発見や経験を大切に、保育をすすめて子どもたちの「楽しかった」「もっとやりたい」という気持ちをどんどん引き出して行きたいと思っています。

☆ 5 歳児（ひまわり組）

- ・ 子どもたちと一緒に 5 月にさつまいもの植え付け、10 月に収穫をしました。その際にさつま芋の蔓の葉っぱを落とし、ミルク缶に巻きつけてクリスマスリース型を作りました。日頃から自然に親しみ、園庭の花を眺め、虫を捕らえることを楽しんでいる子どもたちの姿を踏まえ自然物に触れながら取り組めるよう、そのリースに自然物や毛糸・リボンなどを使って、飾り付けをする活動を行いました。活動にあたっては一人ひとりが取り組み方を選び、イメージが膨らみやすい様に意識しながら行いました。自由製作が好きな子ども達が多く、イメージを形にすることが得意です。素材の組み合わせや配置を自分達で試しながら表現できるよう援助し、指先を使い工夫して作り、リボン結びにも挑戦しました。就学前のこの時期、最後まで見通しを持って取り組む力、自分なりに考え工夫する力の育ちに繋がっていきたいと思っています。

5, 感想気づき

- ・ 製作時間の長さが1時間ある中で、子ども達がとても集中して楽しんで取り組んでいるのを見せていただいた。
- ・ 先生方のチームワークがすごくいいと感じた。支援が必要な子には机のそばについて声を掛けていた。机は 2 人がペアになっていたのも、隣の子と相談する姿や「大丈夫?」と声を掛けている姿が見られ、印象的だった。
- ・ 幼児クラスの部屋におままごとコーナーがなかったが、ランチルームにおままごとコーナーがあり、食育観点からそちらにしようという考えで部屋にはないのだと思った。ランチルームが別であることと、掲示物やいろいろな取り組みを見て、食育に力を入れているのがわかった。

6, 質疑応答

- Q、 製作時間が長かったが皆よく集中して製作を行っていたが、集中できる活動を普段からどのように取り入れているのか？
- A、 4 月にはここまでの集中力はなかったが、絵本製作や毎月の折り紙製作、季節毎にいろいろな製作に取り組んでいるので、その中で、製作時間を少しずつ増やし延ばしている。夏ぐらいから 30 分から 40 分程度の製作時間を設定している。年長に向けても、待つ機会も増えてくる為、待つ時間も少しずつ伸ばしている。時計を見て時間や数字を子ども達に伝え、話を聞けるようにしている。

- Q、 困っている子などの話や相談したい時に職員会議があると思うが、どれぐらいの頻度でしているのか教えてほしい。
- A、 乳児ミーティング、幼児ミーティング、職員会議は月 1 回必ずしている。加配の子ども達もたくさんいるので加配ミーティングも 2 か月に 1 回は必ずするようにし、みんなで情報共有をしている。園内での研修としてチャイルドカンファレンスというのもあり、担当しているクラスの中で加配以外の気になる子どもや、保護者への投げかけなどについて、どのように援助していくといいかなどを話し合う機会を設けている。
- Q、 食育 園の取り組みや様子を教えてほしい。
- A、 幼児クラスは机もありコーナーでなかなか分けられないが、自由遊びの中でお絵描きやブロック遊びなど、自然と遊びが分かれている。部屋で遊ぶ時もあるがキッチンなどは部屋にはなく、ランチルームの奥にキッチンなど置いてあるおままごとコーナーが設けてあるので、子ども達が行って自由に遊ぶことができるようにしている。
- Q、 畑、食育にも力を入れていることについて。
- A、 小さい畑だが、今は玉ねぎが植えてあり、子ども達が一生懸命植えてくれた。食べるということが生きていく上で一番大切なことなので、子ども達が興味を持って育ててくれたらと思っている。調理の職員も協力的で自ら畑に来てくれたり、旬の野菜が給食に出ることを教えてくれたり触れさせてもらう機会も多く、とうもろこしやソラマメ等も子ども達に剥かせてと積極的に提案もしてくれている。

年度別開催保育所(園)一覧

公開保育 開催地域一覧

地域	開催輪番区分	保育所(園)数 R7.4.1現在				
			R7	R8	R9	R10
桑員	桑名市公立	7	○	○	○	—
	桑名市私立	19				
	いなべ市	13				
	木曽岬町 東員町	7				
三泗	四日市市公立	24	○	○	—	○
	四日市市私立	31				
	菰野町 朝日町 川越町	15				
鈴亀	鈴鹿市公立	10	—	○	○	—
	鈴鹿市私立	32				
	亀山市	15				
津	津市公立	24	○	—	○	○
	津市私立	39				
松阪 多気	松阪市公立	16	○	—	○	○
	松阪市私立	16				
	多気町 明和町 大台町	15				
伊勢 志摩	伊勢市	33	—	○	○	—
	鳥羽市・志摩市	18				
	玉城町 度会町 南伊勢町 大紀町	14				
伊賀	伊賀市公立	13	○	○	—	○
	伊賀市私立	14				
	名張市	17				
紀州	尾鷲市	5	—	—	—	○
	熊野市	6				
	紀北町	6				
	御浜町 紀宝町	7				
		416	5地域	5地域	5地域	5地域

年度別公開保育開催所(園)一覧

開催年度		開催日	地域	開催園(所)名	開催年度		開催日	地域	開催園(所)名
昭和54年	1	6月21日	桑名市	別館保育所	昭和55年	1	6月18日	伊勢市	大世古保育所
	2	6月27日	旧美杉村	八幡保育所		2	6月25日	玉城町	田丸保育所
	3	7月3日	旧飯南町	さくら保育園		3	7月3日	旧伊賀町	壬生野保育所
	4	7月4日	旧員弁町	中保育園		4	7月12日	津市	高茶屋保育園
	5	7月17日	四日市市	みのり保育所		5	7月22日	旧上野市	しろなみ保育所
	6	9月18日	旧小俣町	あけぼの保育園		6	7月23日	旧久居市	本郷保育所
	7	9月20日	旧南勢町	五ヶ所園		7	9月4日	尾鷲市	第2保育所
	8	9月27日	旧関町	関保育所		8	9月18日	松阪市	駅部田保育所
	9	9月28日	旧大王町	波切保育所		9	9月30日	川越町	中部保育園
	10	10月15日	旧上野市	府中保育園		10	10月9日	東員町	いなべ保育所
	11	10月20日	津市	三重保育院		11	10月29日	鈴鹿市	算所保育所
	12	10月30日	旧阿山町	阿山保育所		12	10月31日	鳥羽市	菅島保育所
	13	11月2日	鳥羽市	船津保育園		13	11月5日	熊野市	神川保育所
	14	11月7日	旧久居市	西鷹跡保育所		14	11月12日	旧安濃町	第一保育所
	15	11月20日	名張市	昭和保育所		15	11月21日	木曽岬町	北部保育所
	16	1月23日	旧楠町	楠南保育園		16	11月19日	旧多気町	相可保育所
	17	1月24日	鈴鹿市	岸田保育園		17	11月26日	四日市市	羽津保育所
	18	2月1日	紀宝町	成川保育所		18	1月20日	桑名市	あけぼの保育園
	19	2月26日	旧勢和村	中央保育所		19	2月20日	名張市	比奈知保育所
	20	2月29日	旧海山町	相賀幼稚園		20	3月2日	亀山市	亀山愛児園
	21	3月10日	松阪市	若葉保育園		21	3月5日	旧志摩町	和具第2保育所
昭和56年	1	6月19日	鈴鹿市	長沢保育園	昭和57年	1	8月6日	熊野市	木本保育所
	2	6月25日	鳥羽市	安楽島保育所		2	9月21日	度会町	棚橋保育所
	3	6月30日	四日市市	ローズ幼児園		3	9月22日	旧上野市	依那古保育所
	4	7月10日	名張市	西保育所		4	10月21日	旧宮川村	第5保育所
	5	7月28日	旧三雲町	三雲保育園		5	10月29日	松阪市	さくら保育所
	6	8月28日	旧鵜殿村	鵜殿保育所		6	11月9日	旧河芸町	ゆたか保育園
	7	9月22日	津市	片田保育園		7	12月7日	四日市市	神前保育所
	8	10月8日	旧青山町	阿保保育所		8	1月28日	鳥羽市	桃取保育所
	9	10月20日	旧磯部町	下之郷保育所		9	2月3日	菰野町	朝上保育園
	10	10月22日	桑名市	桑陽保育所		10	3月2日	亀山市	第一愛護園
	11	10月28日	明和町	ささふえ保育所	昭和58年	1	5月26日	伊勢市	浜郷保育所
	12	11月6日	旧紀伊長島町	ひかり保育園		2	6月22日	名張市	赤め保育所
	13	11月13日	旧久居市	野村保育園		3	7月15日	旧長島町	長島中部保育園
	14	11月22日	松阪市	白鳩保育所		4	9月22日	鈴鹿市	玉垣保育所
	15	12月1日	旧二見町	五峰保育園		5	10月14日	尾鷲市	尾鷲第3保育所
	16	12月22日	旧大安町	笠間第2保育園		6	10月28日	桑名市	養泉寺保育園
	17	1月14日	亀山市	川崎愛児園		7	11月4日	旧大山田村	東保育園
	18	1月27日	旧上野市	みどり第2保育園		8	11月10日	旧久居市	ひとみね保育園
	19	2月10日	伊勢市	有滝保育園		9	11月25日	津市	立誠保育園
	20	3月2日	朝日町	南保育園		10	12月6日	旧浜島町	浜島第1保育所

開催年度		開催日	地域	開催園(所)名	開催年度		開催日	地域	開催園(所)名
昭和59年	1	6月8日	旧飯高町	赤桶保育所	昭和60年	1	6月12日	亀山市	第3愛護園
	2	6月20日	旧上野市	みどり保育園		2	6月20日	旧海山町	上里保育園
	3	8月1日	御浜町	市木保育所		3	7月4日	旧大宮町	阿曾保育園
	4	9月3日	旧紀勢町	柏崎保育所		4	9月13日	名張市	箕曲保育所
	5	9月21日	四日市市	かわしま保育園		5	10月17日	旧藤原町	第2保育園
	6	10月12日	旧北勢町	阿下喜保育所		6	10月30日	旧飯南町	すみれ保育園
	7	10月23日	旧嬉野町	こだま保育所		7	11月1日	津市	白塚愛児園
	8	11月4日	旧阿児町	鵜法保育所		8	11月22日	旧島ヶ原村	島ヶ原保育所
	9	11月7日	松阪市	大津保育所		9	11月26日	旧一志町	波瀬保育所
	10	11月30日	鳥羽市	鳥羽保育所		10	3月11日	伊勢市	みどり保育園
昭和61年	1	7月18日	旧芸濃町	雲林院保育園	昭和62年	1	7月17日	旧上野市	佐那具保育所
	2	7月31日	鈴鹿市	白鳩保育園		2	7月29日	尾鷲市	矢の浜保育園
	3	8月7日	旧久居市	北部保育園		3	8月3日	旧員弁町	東保育園
	4	8月27日	旧南勢町	穂原園		4	8月31日	旧勢和村	丹生保育所
	5	9月30日	桑名市	幼成保育園		5	9月24日	旧香良洲町	香良洲保育園
	6	10月31日	大台町	三瀬谷北保育所		6	9月30日	四日市市	中央保育園
	7	11月11日	旧楠町	楠北保育園		7	10月9日	旧伊賀町	壬生野保育所
	8	11月20日	旧大内村	大内村保育所		8	10月16日	旧南島町	南島保育所
	9	12月17日	旧阿山町	まるばしら保育所		9	11月9日	旧関町	関保育園
	10	1月20日	熊野市	井戸保育園		10	11月12日	鳥羽市	国崎保育所
昭和63年	1	7月6日	津市	橋南保育園	平成元年	1	7月12日	明和町	なりひら保育所
	2	7月12日	旧紀和町	板屋保育所		2	7月18日	鈴鹿市	牧田保育所
	3	8月2日	伊勢市	明倫保育所		3	7月26日	木曽岬町	中部保育所
	4	8月4日	玉城町	外城田保育所		4	8月1日	桑名市	厚生館保育所
	5	9月9日	旧員弁町	笹尾第1保育園		5	9月22日	四日市市	大谷台保育所
	6	9月21日	旧河芸町	千里ヶ丘保育園		6	9月28日	旧白山町	家城保育園
	7	10月4日	旧志摩町	片田保育園		7	10月3日	旧青山町	上津保育所
	8	10月13日	多気町	すみれ保育所		8	10月18日	亀山市	川崎南保育園
	9	11月9日	松阪市	第2保育所		9	10月24日	川越町	南部保育所
	10	11月17日	名張市	東部保育所		10	11月8日	旧小俣町	ゆりかご園
平成2年	1	7月12日	旧多度町	多度町保育園	平成3年	1	7月10日	旧大安町	笠間第2保育園
	2	9月13日	旧上野市	ひかり保育園		2	9月5日	旧飯高町	森保育所
	3	10月2日	旧紀伊長島町	ひがし保育園		3	9月20日	四日市市	水沢保育園
	4	10月12日	旧美杉村	太郎生保育所		4	10月3日	鳥羽市	松尾保育所
	5	10月24日	津市	高田保育園		5	10月18日	旧阿山町	ともだ保育所
	6	10月31日	度会町	長原保育所		6	10月22日	旧御園村	御園第2保育所
	7	11月8日	旧久居市	すぎのこ保育園		7	11月3日	朝日町	南保育所
	8	11月16日	旧磯部町	渡鹿野保育所		8	11月14日	松阪市	若葉保育園
	9	11月22日	熊野市	金山保育所		9	11月15日	旧芸濃町	棕本保育園
	10	12月3日	旧宮川村	第2保育所		10	11月29日	尾鷲市	尾鷲第4保育園

開催年度		開催日	地域	開催園(所)名	開催年度		開催日	地域	開催園(所)名
平成4年	1	7月14日	鈴鹿市	河曲保育園	平成5年	1	7月16日	四日市市	愛華保育園
	2	7月22日	旧三雲町	三雲北保育園		2	8月10日	旧伊賀町	柘植第2保育園
	3	10月20日	津市	中央保育園		3	8月31日	旧北勢町	阿下喜保育所
	4	10月21日	旧二見町	二見浦保育園		4	10月19日	大台町	川添保育所
	5	10月29日	伊勢市	たけのこ保育園		5	10月20日	旧南勢町	穂原園
	6	10月30日	名張市	蔵持保育所		6	10月26日	桑名市	城東保育所
	7	11月10日	旧飯南町	あおば保育園		7	11月10日	亀山市	和田保育園
	8	11月12日	紀宝町	相野谷保育所		8	11月16日	旧上野市	神戸保育所
	9	11月13日	旧大王町	第3保育所		9	11月17日	旧長島町	長島中部保育園
	10	11月17日	菰野町	朝上保育園		10	11月30日	旧嬉野町	ひかり保育園
平成6年	1	7月8日	松阪市	駅部田保育所	平成7年	1	6月29日	尾鷲市	南輪内保育園
	2	7月13日	旧河芸町	さくら保育園		2	7月4日	旧関町	加太保育園
	3	7月20日	鈴鹿市	ほうりん保育園		3	7月5日	津市	津カトリック保育園
	4	7月26日	旧久居市	北口保育園		4	9月12日	旧楠町	南保育園
	5	8月3日	熊野市	遊木保育所		5	9月27日	旧青山町	博要保育所
	6	10月13日	旧勢和村	波多瀬保育所		6	10月17日	多気町	佐奈保育所
	7	10月25日	旧南島町	南島保育所		7	10月24日	旧志摩町	越賀保育所
	8	11月2日	旧藤原町	ふじわら保育所		8	11月7日	旧一志町	高野保育所
	9	11月16日	旧長島町	矢口浦保育所		9	11月14日	鳥羽市	答志保育所
	10	11月30日	旧阿児町	安乗保育所		10	11月22日	四日市市	高花平保育所
平成8年	1	7月5日	御浜町	阿田和保育園	平成9年	1	7月16日	旧美里村	美里さつき保育園
	2	7月31日	旧香良洲町	香良洲保育園		2	7月23日	松阪市	三郷保育園
	3	9月11日	亀山市	神辺保育園		3	10月1日	旧大山田村	西保育園
	4	9月25日	名張市	大屋戸保育園		4	10月2日	旧安濃町	第1保育園
	5	10月15日	旧磯部町	ひのてが丘保育所		5	10月21日	東員町	笹尾第1保育所
	6	10月24日	明和町	みどり保育所		6	10月22日	鈴鹿市	かみの保育園
	7	10月25日	桑名市	山崎乳児保育所		7	10月23日	旧宮川村	宮川保育所
	8	10月29日	旧上野市	三田保育園		8	11月5日	旧大宮町	滝原保育園
	9	11月6日	伊勢市	さくらぎ保育所		9	11月11日	旧紀勢町	錦保育所
	10	11月7日	旧員弁町	東保育園		10	11月20日	四日市市	フジ保育園
平成10年	1	7月1日	津市	高茶屋保育園	平成11年	1	7月2日	旧久居市	西鷹跡保育所
	2	7月30日	玉城町	有田保育所		2	7月6日	旧白山町	川口保育園
	3	9月24日	木曽岬町	南部保育園		3	8月3日	旧鵜殿村	鵜殿保育所
	4	10月20日	旧飯高町	川俣保育所		4	10月6日	旧小俣町	あけぼの保育園
	5	10月23日	熊野市	五郷保育所		5	10月7日	旧上野市	猪田保育園
平成12年	1	10月23日	桑名市	城東保育所	平成13年	1	8月2日	伊勢市	大湊保育園
	2	11月7日	鳥羽市	相差保育所		2	10月3日	旧南勢町	相生保育園
	3	9月21日	四日市市	あがた保育園		3	10月16日	名張市	西田原保育所
	4	10月26日	旧飯南町	ひまわり保育園		4	11月7日	旧阿山町	たまたき保育所
	5	11月16日	川越町	ひばり保育園					

開催年度		開催日	地域	開催園(所)名	開催年度		開催日	地域	開催園(所)名
平成14年	1	10月3日	鳥羽市	池上保育所	平成15年	1	7月10日	熊野市	あすか保育園
	2	10月10日	旧上野市	曙保育園		2	10月28日	松阪市	松阪仏教愛護園
	3	10月30日	四日市市	いずみ保育園		3	10月30日	伊勢市	明倫保育所
	4	11月7日	津市	三重保育院		4	11月7日	名張市	薦原保育所
	5	11月14日	紀北町	ふらここ保育園		5	11月14日	鈴鹿市	白子保育所
平成16年	1	10月28日	桑名市	桑陽保育所	平成17年	1	6月24日	御浜町	志原保育所
	2	11月2日	尾鷲市	尾鷲第1保育園		2	10月20日	鳥羽市	かがみうら保育所
	3	11月9日	旧芸濃町	芸濃保育園		3	11月1日	津市	立誠保育園
	4	1月19日	旧阿児町	立神保育所		4	11月17日	四日市市	海蔵保育園
						5	11月22日	伊賀市	島ヶ原保育所
平成18年	1	6月30日	熊野市	五郷保育所	平成19年	1	7月20日	木曽岬町	中部保育園
	2	11月8日	伊勢市	東大淀保育園		2	10月17日	度会町	中之郷保育所
	3	11月10日	松阪市	大河内保育園		3	10月25日	亀山市	昼生保育園
	4	11月14日	鈴鹿市	竹野の森こども園		4	11月2日	伊賀市	大山田西保育園
	5	11月22日	名張市	錦生保育所		5	11月16日	尾鷲市	尾鷲第2保育園
						6	11月30日	津市	大里保育園
平成20年	1	6月26日	桑名市	山崎乳児保育所	平成21年	1	9月10日	伊賀市	猪田保育所
	2	10月22日	松阪市	第二保育園		2	10月28日	鈴鹿市	第二長太の浦保育園
	3	10月29日	志摩市	船越保育所		3	10月29日	伊勢市	御園第一保育園
	4	11月6日	四日市市	日永保育園		4	11月5日	津市	みらいの森ゆたか園
	5	11月7日	鈴鹿市	深伊沢保育所		5	12月2日	菰野町	菰野西保育園
	6	11月20日	津市	安濃保育園		6	2月10日	松阪市	みどり保育園
平成22年	1	10月27日	大台町	三瀬谷保育園	平成23年	1	7月29日	松阪市	松阪東保育園
	2	10月28日	玉城町	下外城田保育所		2	10月26日	津市	津愛児園
	3	11月2日	名張市	滝之原保育所		3	10月27日	鳥羽市	あおぞら保育所
	4	11月25日	津市	こべき保育所		4	11月11日	桑名市	大山田北保育園
	5	11月26日	亀山市	野登ルンビニ園		5	11月15日	伊賀市	ゆめが丘保育所
						6	開催中止	紀宝町	飯盛保育所
平成24年	1	6月19日	伊勢市	村松保育園	平成25年	1	6月14日	名張市	富貴の森保育園
	2	6月28日	いなべ市	山郷保育所		2	10月17日	大紀町	ななほ保育園
	3	10月19日	伊賀市	みどり保育園		3	11月8日	尾鷲市	尾鷲第三保育園
	4	10月24日	熊野市	金山保育所		4	11月12日	東員町	笹尾第二保育園
	5	10月26日	四日市市	浜田保育園		5	11月14日	鈴鹿市	河曲保育所
	6	11月8日	松阪市	つくし保育園		6	11月29日	四日市市	日永中央保育園
平成26年	1	7月31日	津市	雲出保育園	平成27年	1	6月18日	桑名市	長寿保育園
	2	10月22日	伊賀市	さくら保育園		2	6月24日	四日市市	三重愛育保育園
	3	10月29日	桑名市	長島中部保育所		3	7月3日	紀宝町	井田保育所
	4	10月30日	鈴鹿市	あかつき保育園		4	7月15日	松阪市	西保育園
	5	1月23日	川越町	北部保育所		5	10月1日	亀山市	なのはな保育園
						6	10月7日	多気町	勢和保育園
						7	11月17日	津市	志登茂保育園

開催年度		開催日	地域	開催園(所)名	開催年度		開催日	地域	開催園(所)名
平成28年	1	8月23日	いなべ市	笠間保育園	平成29年	1	10月13日	朝日町	あさひ園
	2	11月10日	志摩市	志摩保育所		2	10月25日	明和町	みょうじょうこども園
	3	11月18日	津市	高野保育園		3	11月2日	伊勢市	しごうこども園
	4	11月22日	四日市市	富洲原保育園		4	11月22日	鈴鹿市	いそやま保育園
	5	11月25日	鈴鹿市	牧田保育所		5	11月28日	伊賀市	睦保育園
						6	11月29日	津市	杜の街ゆたか園
平成30年	1	10月24日	松阪市	三雲南保育園	令和元年	1	7月26日	四日市市	にじのはな保育園
	2	10月30日	南伊勢町	さくら保育園		2	11月6日	伊賀市	しろなみ保育所
	3	11月7日	名張市	みはた虹の丘保育園		3	11月13日	いなべ市	三里保育園
	4	11月9日	津市	野村保育園		4	11月14日	度会町	長原保育所
	5	11月15日	亀山市	みなみ保育園		5	12月6日	津市	ぼだいじこども園
令和2年	1	11月5日	津市	千里ヶ丘保育園	令和3年	1	開催中止	鈴鹿市	みそら保育園
	2	11月13日	木曽岬町	木曽岬こども園		2	11月5日	津市	第二はなこま保育園
	3	開催中止	鈴鹿市	神戸保育所		3	11月16日	伊賀市	友生保育園
	4	開催中止	四日市市	坂部保育園		4	12月15日	玉城町	田丸保育所
	5	2月5日	大台町	日進保育園		5	開催中止	松阪市	神戸保育園
令和4年	1	8月25日	紀北町	ふらここ保育園	令和5年	1	9月6日	松阪市	若草保育園
	2	10月27日	菰野町	鵜川原保育園		2	9月15日	鈴鹿市	ひばり保育園
	3	11月2日	名張市	赤目保育所		3	10月24日	津市	香良洲浜っ子幼児園
	4	11月8日	鈴鹿市	玉垣保育所		4	11月17日	伊勢市	豊浜西保育所
	5	11月18日	鳥羽市	安楽島保育所		5	12月20日	四日市市	あがたが丘保育園
令和6年	1	10月17日	大紀町	大紀保育園	令和7年	1	11月11日	伊賀市	神戸保育所
	2	11月7日	多気町	勢和保育園		2	11月17日	松阪市	久保保育園
	3	11月12日	亀山市	関認定こども園アスレ		3	11月19日	桑名市	多度保育所
	4	11月15日	名張市	昭和保育園		4	11月28日	四日市市	内部保育園
	5	11月22日	東員町	笹尾第一保育園		5	12月17日	津市	清泉愛育園

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

福祉研修人材部 福祉育成支援課

問合せ先:059-213-0533

本冊子に掲載の様式は本会ホームページから取得できます。

資料ダウンロードのページをご確認ください。

<https://www.miewel-1.com/>